２０２７年国際園芸博覧会食の魅力向上業務委託
提案書評価基準

表１の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表２のとおりとします。

表１　基本的事項

評価項目（配点）	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績（20 点）	業務責任者	本業務の遂行に資する同種又は類似業務において、業務全体の管理・調整を行った実績を有しているか。	10		
	担当者	本業務の遂行に資する同種又は類似業務において、企画、参加事業者との調整、制作・情報発信又は運営を担当した実績を有しているか。	10		
提案内容（140 点）	【業務内容ア】博覧会の趣旨及び本業務の目的を理解し、食と農のつながりを来場者に伝え、食の魅力と満足度を高める実施方針が示されているか。また、役割分担、実施体制及び業務工程が具体的かつ実現可能なものとなっているか。		20		
	【業務内容イ】仕様書に示す視点を踏まえ、来場者が楽しみつつ気付きを得られる企画が示されているか。店舗の特色を生かし、出店者が参加しやすい仕組み、参加促進及びメニュー情報等の収集・管理方法が具体的に示されているか。		30		
	【業務内容ウ】店頭ＰＯＰ、ウェブサイト、食マップ及び公式ＳＮＳ等を連動させ、対象メニューの発見や店舗への来訪につなげる提案となっているか。また、食材の産地や生産背景、国産畜産物等に関する取組を、正確かつ分かりやすく伝える方法が示されているか。		30		
	【業務内容エ】会期を通じた店舗対応、定期的な巡回、掲載情報の更新及び課題への対応方法が具体的に示されているか。また、季節や時間帯等に応じた特集など、複数店舗への回遊を促し、継続的に食を楽しめる提案となっているか。		30		
	【業務内容オ】店舗ヒアリング及び来場者調査の方法が、業務の目的や調査規模に照らして妥当か。また、調査結果や閲覧実績等から効果と改善点を整理し、畜産関係団体等への成果普及に活用できる形で取りまとめる方法が具体的に示されているか		30		
ヒアリング（40 点）	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等（7 点）	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（え		1		

	るぼしマーク）の取得			
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を１人以上雇用している（従業員 40 人未満）	1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得	1		
	国又は地方自治体が行うスタートアップ企業支援対策の対象事業者	1		
業務遂行能力（10 点）	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか	10		
評価点の合計（217 点）				

評価方法

(1)　業務実績及び業務遂行能力は、Ａ、Ｃ、Ｅの３段階評価を行う。

(2)　提案内容及びヒアリングは、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅの５段階評価を行う。

(3)　評価点については、次のように配点を行う。

ア　業務実績の各項目

配点 10 点　Ａ＝10 点、Ｃ＝６点、Ｅ＝２点

イ　提案内容及びヒアリング

配点 30 点　Ａ＝30 点、Ｂ＝24 点、Ｃ＝18 点、Ｄ＝12 点、Ｅ＝6 点

配点 20 点　Ａ＝20 点、Ｂ＝16 点、Ｃ＝12 点、Ｄ＝８点、Ｅ＝４点

ウ　業務遂行能力

配点 10 点　Ａ＝10 点、Ｃ＝６点、Ｅ＝２点

(4)　ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を１つ満たすごとに１点を加算する。

(5)　提案内容とヒアリングの評価項目において、Ｅ評価のあるものは原則として選定しない。

(6)　評価点について最上位の者が２者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。

(7)　業務実績、ワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、１者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。

(8)　提案内容及びヒアリングは、１者ごとに各評価委員が評価を行う。

(9)　業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。

(10) 評価点は、評価委員１名につき満点で 216 点とし、評価委員全員の合計で 216 点×５名＝1,080 点で満点とする。

(11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、１者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。

(12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。

(13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を

行う。

(14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC（40 点×３/５＝24 点）とする。

(15) 提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を１点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。

見積金額÷(業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点)＝1 点あたりの費用金額

表２　評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	業務責任者	同種又は類似の業務の実績は十分か	同種業務※において、業務全体の管理・調整を行った実績を有する。		類似業務※において、業務全体の管理・調整を行った実績を有する。		A 又は C に該当しない
	担当者	同種又は類似の業務の実績は十分か	同種業務※において、企画、参加事業者との調整、制作・情報発信又は運営を担当した実績を有する。		類似業務※において、企画、参加事業者との調整、制作・情報発信又は運営を担当した実績を有する。		A 又は C に該当しない
提案内容	博覧会の趣旨及び本業務の目的を理解し、食と農のつながりを来場者に伝え、食の魅力と満足度を高める実施方針が示されているか。また、役割分担、実施体制及び業務工程が具体的かつ実現可能なものとなっているか。		評価の着目点を十分に満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び期待される効果が高い。	評価の着目点をおおむね満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び効果が認められる。	どちらともいえない	評価の着目点に対する記載が不十分であり、具体性又は実現性に懸念がある。	評価の着目点に対する提案がない、又は業務の目的・条件に適合せず、適切な実施が見込めない。
	仕様書に示す視点を踏まえ、来場者が楽しみつつ気付きを得られる企画が示されているか。また、店舗の特色を生かし、出店者が参加しやすい仕組み、参加促進及びメニュー情報等の収集・管理方法が具体的に示されているか。		評価の着目点を十分に満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び期待される効果が高い。	評価の着目点をおおむね満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び効果が認められる。	どちらともいえない	評価の着目点に対する記載が不十分であり、具体性又は実現性に懸念がある。	評価の着目点に対する提案がない、又は業務の目的・条件に適合せず、適切な実施が見込めない。
	店頭ＰＯＰ、ウェブサイト、食マップ及び公式ＳＮＳ等を連動させ、対象メニューの発見や店舗への来訪につなげる提案となっているか。また、食材の産地や生産背景、国産畜産物等に関する取組を、正確かつ分かりやすく伝える方法が示されているか。		評価の着目点を十分に満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び期待される効果が高い。	評価の着目点をおおむね満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び効果が認められる。	どちらともいえない	評価の着目点に対する記載が不十分であり、具体性又は実現性に懸念がある。	評価の着目点に対する提案がない、又は業務の目的・条件に適合せず、適切な実施が見込めない。
	会期を通じた店舗対応、定期的な巡回、掲載情報の更新及び課題への対応方法が具体的に示されているか。また、季節や時間帯等に応じた特集など、複数店舗への回遊を促し、継続的に食を楽しめる提案となっているか。		評価の着目点を十分に満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び期待される効果が高い。	評価の着目点をおおむね満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び効果が認められる。	どちらともいえない	評価の着目点に対する記載が不十分であり、具体性又は実現性に懸念がある。	評価の着目点に対する提案がない、又は業務の目的・条件に適合せず、適切な実施が見込めない。
	店舗ヒアリング及び来場者調査の方法が、業務の目的や調査規模に照らして妥当か。また、調査結果や閲覧実績等から効果と改善点を整理し、畜産関係団体等への成果普及に活用できる形で取りまとめる方法が具体的に示されているか。		評価の着目点を十分に満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び期待される効果が高い。	評価の着目点をおおむね満たし、方法・手順等が具体的で、実現性及び効果が認められる。	どちらともいえない	評価の着目点に対する記載が不十分であり、具体性又は実現性に懸念がある。	評価の着目点に対する提案がない、又は業務の目的・条件に適合せず、適切な実施が見込めない。
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか		特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない
	取り組み意欲が感じられるか		強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない

業務遂行能力	１点あたりの費用金額	業務遂行の費用対効果が１番目に高いもの		業務遂行の費用対効果が２番目に高いもの		業務遂行の費用対効果が３番目に高いもの

※同種業務：複数の飲食店又は食関連事業者が参加する事業において、事業企画、参加事業者との調整、制作・情報発信及び運営を一体的に行う業務。

※類似業務：食・農・地域食材等に関する企画・情報発信業務、又は複数の店舗・事業者が参加する催事・キャンペーン等の調整・運営業務。